

東京海洋大学 海洋工学部 および 神戸大学 海事科学部 オープンキャンパスに協力

当協会は、2008年7月に人材確保タスクフォースを設置し、船員教育機関（大学、高専、海技教育機構）とも連携しつつ、優秀な日本人船員（海技者）確保のための様々な広報活動等を展開している。

この度、その一環として、2016年7月29日（金）に東京海洋大学海洋工学部（越中島キャンパス）、8月9日（火）に神戸大学海事科学部（深江キャンパス）において、高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスが開催され、当協会もこれに協力した。

東京海洋大学では、同大学卒業生の進路として多くの学生が就職している海事系業界団体の講演会「キャリアコンパス～将来の仕事を見てみよう～」において、同大学のOBでもある(株)商船三井 鐘ヶ江船長が、航海士、機関士の仕事や、海運の役割などについて説明した。また、展示ブースにおいては、来場者からの様々な質問に回答した。

神戸大学では、同大学OBでもある日本郵船(株) 堤船長が、弊協会設置ブースにおいて、来場者からの質問に回答した。

来場者からは「入社してからどのくらいで船長になるのか」「外国人船員とのコミュニケーションには英語が必要か」「数学は得意ではないが仕事で使うか」など幅広い質問があった。

当協会では、今後も各教育機関と連携しつつ、若年層へ将来の進路としての海技者に関心を持っていただけるよう活動を継続する。



東京海洋大学 展示ブースの様子



神戸大学 展示ブースの様子



東京海洋大学 講演の様子
(株)商船三井 鐘ヶ江船長



神戸大学 質問を受け付ける
日本郵船(株) 堤 船長